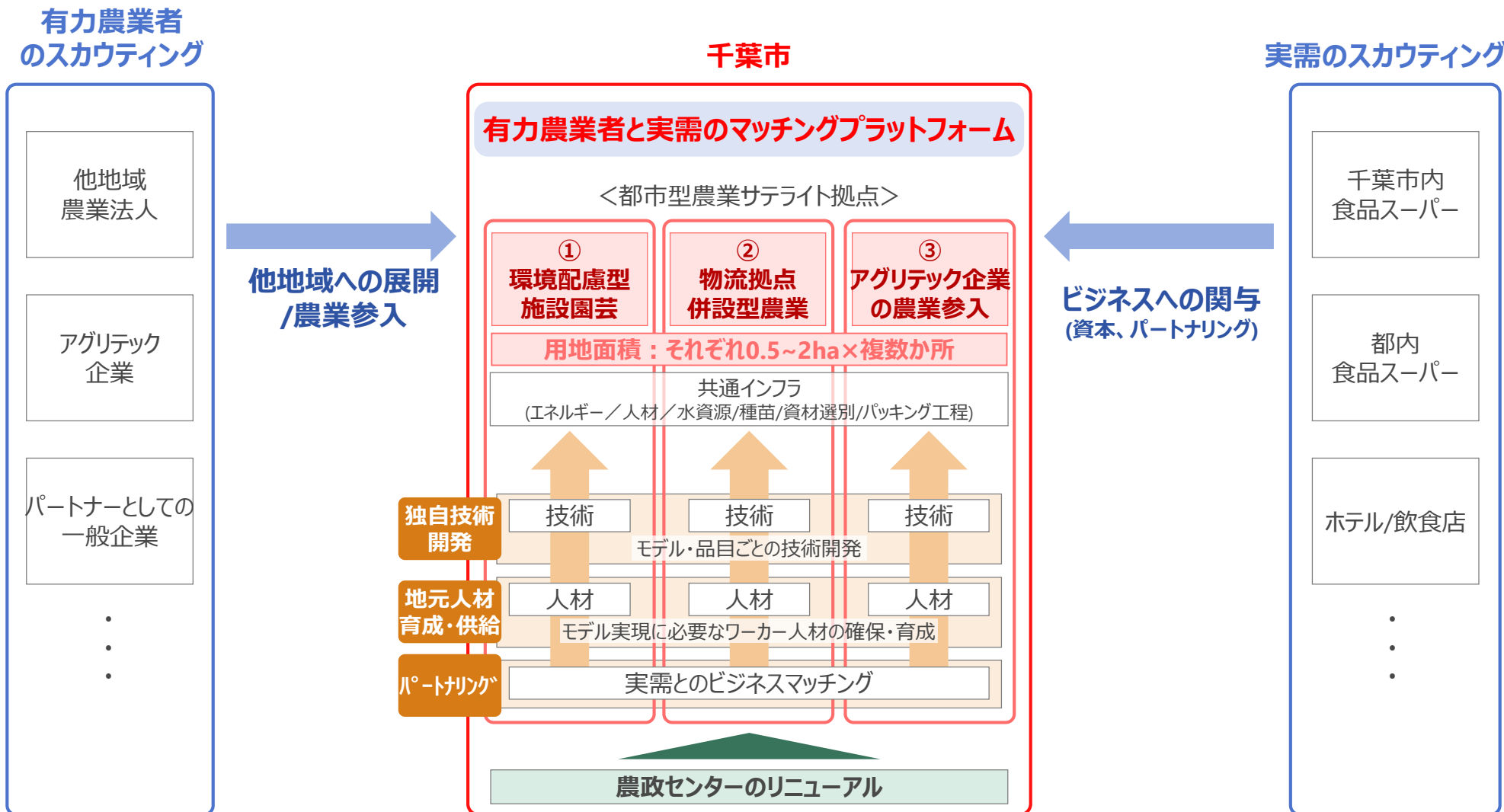


# 他地域の有力農業者×実需による都市型成長戦略モデル

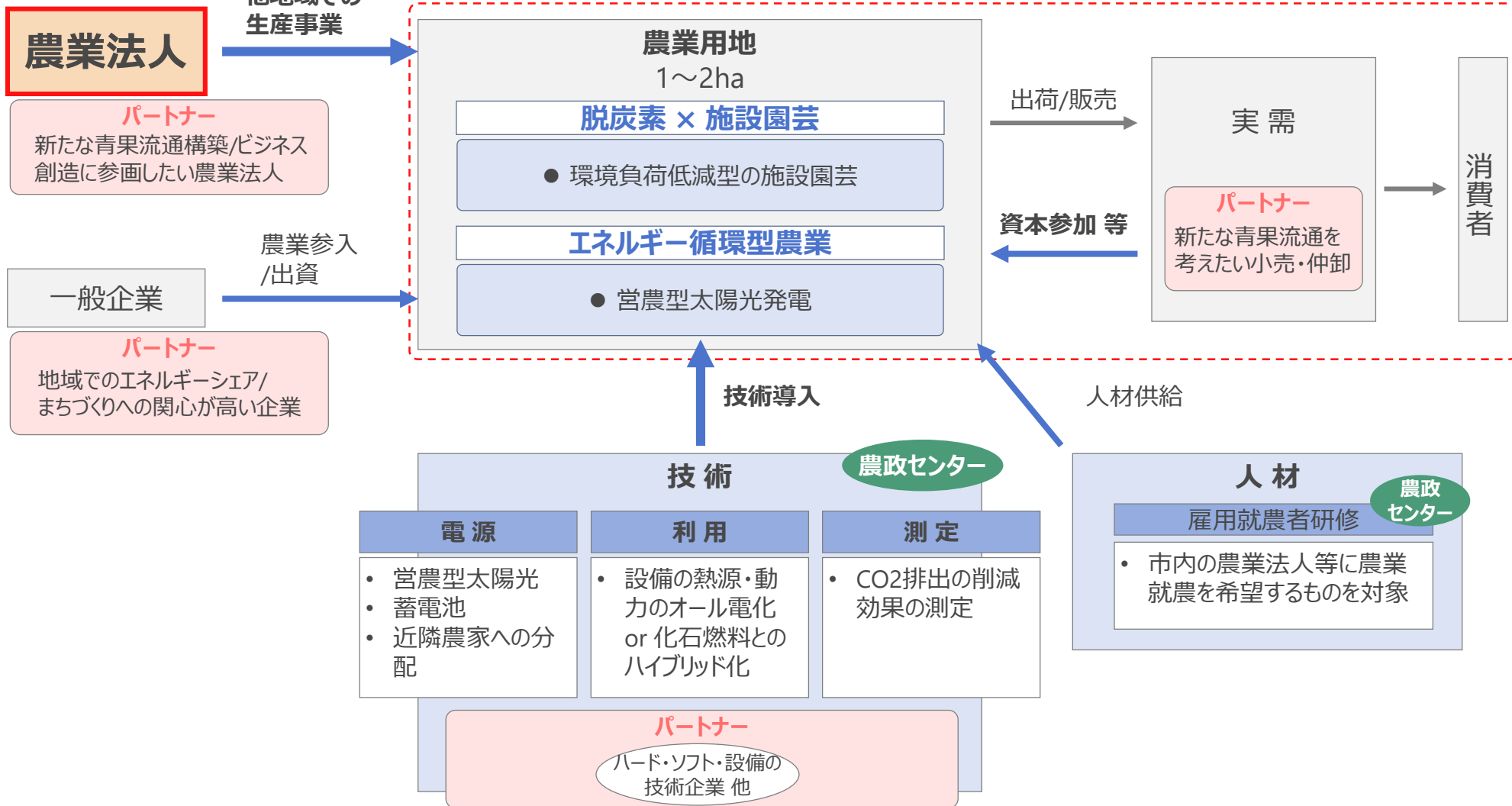
【コンセプト】 他地域で展開する有力農業者が、新たに関東圏への拡大を行う際に、都市型農業法人に必要な技術・人材・パートナーを提供する「都市型農業サテライト拠点」



# モデル1-①：環境配慮型の施設園芸事業

事業の狙い：千葉市における持続可能な地域産業型のアグリ事業の創造

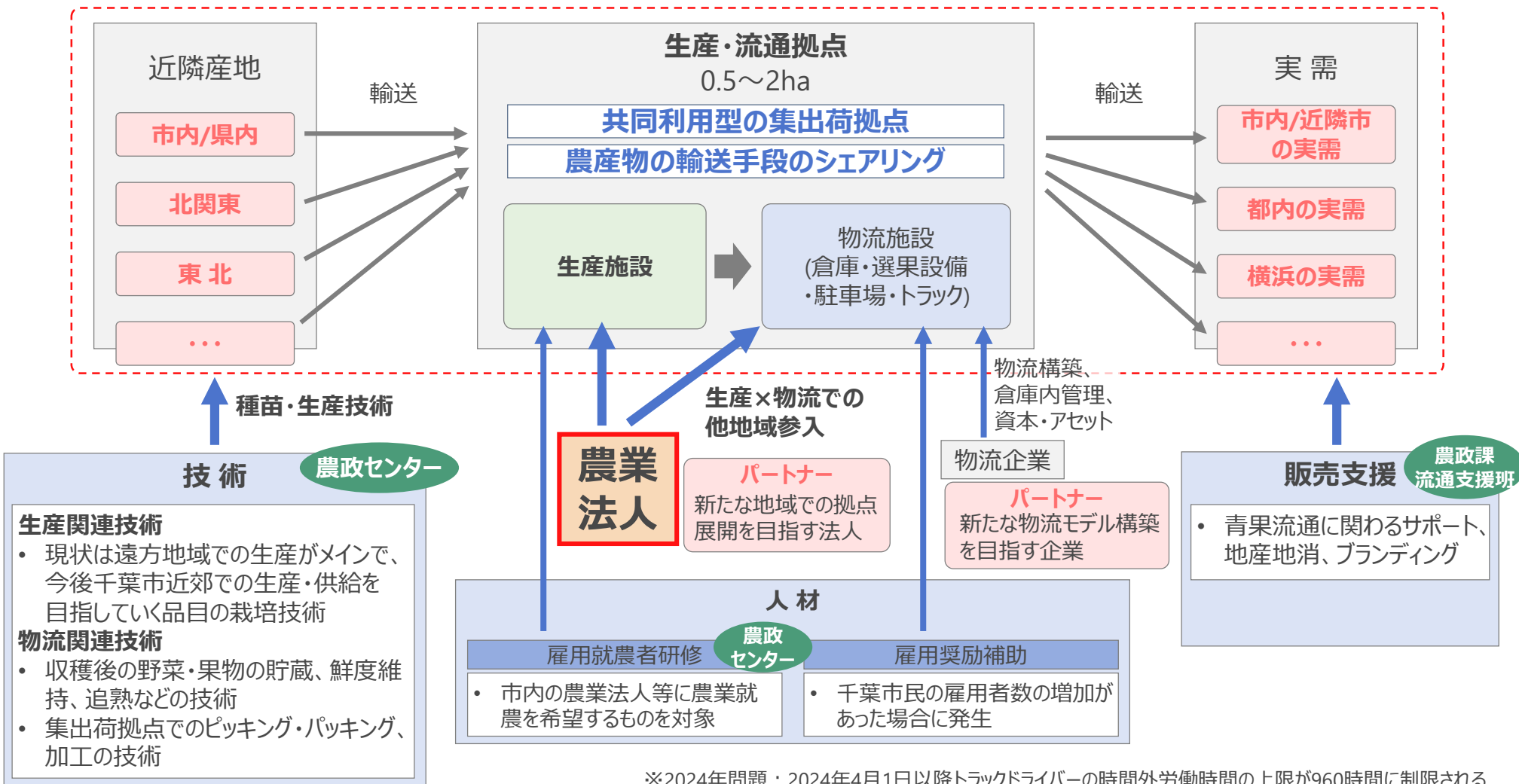
- 青果流通全体でのLCCO2の改善
- CO2排出量の削減/化石燃料消費の削減
- エネルギーコスト削減



# モデル1-②：物流拠点併設型の農業事業

## 事業の狙い：日本の青果流通課題を解決する新たな農産物流通モデルの創造

- 2024年問題(※)の下でも採算のとれる新たな青果流通モデルの構築
- 物流コストの削減（CO2排出量の削減）



※2024年問題：2024年4月1日以降トラックドライバーの時間外労働時間の上限が960時間に制限されるこれにより、更なるドライバー不足、物流費の上昇などの問題発生が懸念される

# モデル1-③：アグリテック企業向け農業参入促進事業

事業の狙い：アグリテック企業の誘致および地元農業者への技術の普及・ライセンス

- ICT系の技術に加え、種苗開発や栽培技術など、広義のアグリテック企業による農事業の創造・実現
- 関連技術・ノウハウの地元農業者への普及・展開による生産の高度化

